

2016年

9

月号

# 組合会報

〈発行所〉  
 埼玉県鍍金工業組合  
 〒331-0811  
 さいたま市北区吉野町 2-222-7  
 TEL 048 (666) 2184  
 FAX 048 (652) 7631  
 〈発行人・理事長〉  
 黒澤 久  
 〈編集人・総務委員長〉  
 島田 幸昌

## —今月号の主な内容—

「私にとって組合との出会い」吉田幸司副理事長……2	埼玉会 新会長就任挨拶 ……………7
第51回通常総会開催 ……………3	ほう素等の暫定基準改正及び延長 ……………7
全鍍連 平成28年度通常総会開催 ……………5	特殊ハレル研磨 ダイエイハレル ……………9
埼玉会 定期総会開催 ……………7	生命共済制度 ……………10



156号



## 「私にとって組合との出会い」

副理事長 吉田 幸司



父親の急逝により組合にお世話になってから早いもので8年が経過いたしました。

私は組合の事どころか、業界のことすら何も知らず、18年前にこの業界に入った訳ですが、当時はこの仕事に面白みを見い出せず、1～2年間過ごしておりました。それまでは営業の第一線であり、こち飛び回り、売上の数字のみを追いかけていれば良く、経費や稼働率も気にせず、自分の時間だけでそれなりのお給料が頂けたのです。それがどうでしょう。私が当社

に入ったときはちょうど繁忙期が終わり、暇な時期だった事もあり、草取りとペンキ塗りから始まり、仕事が入ると魚やさんの様なゴムの前掛け、長靴姿で重たい銅の塊をせっせと運び、伝票を見れば一個数円。しかも小数点の桁まで書いてある。

そして終業のベルが鳴ればみんな一斉にタイムカードを押しして帰っていく。

正直カルチャーショックでした。

数カ月現場で実習を行い、営業部長の名刺と営業車をもらったものの、何をどうすれば良いのかもわからずただ過ごしていたのを今でも鮮明に覚えております。

それから数年間、自分なりにコストの計算、合理化、下請け外注などではの営業の方法等いろいろなセミナーを聴いたり、先輩方のレクチャーを受け、たくさんの方々と知り合いなんとか家業であるこの仕事を続けてきました。

ところが、相談役である父が亡くなりすぐにリーマンが…。流石に結構なダメージを受けました。もちろん精神的にもです。

そんな時、この組合に出会いました。

入院していた父からも『あそここの会社は素晴らしい』『〇〇さんは大したものだ』などという話をよく聞いていたので、自分なりに同業者の先輩たちとお付き合いすれば、なかなか良い話が聞けるかもしれないと思ったのかもしれない。

実際に沢山の同業者の方々に出会い、皆さんにとっても可愛がっていただきました。

また、共通の悩みを分か合う同世代の多くの仲間が出来ました。今となって見ると、あの時組合に入ってなかったら、今の自分も会社もなくなっていたかもしれない。

今ではめつき業という業界に誇りを持っており、この仕事を楽しいと思っております。

もちろん売上や環境その他の問題など苦労はありますが、一緒に悩む仲間がいる。

そして互いにこの業界を良くしようと考えてくれる先輩たちがいる。人は財産と言いますが、まさにその通りだと痛感いたしました。

社長業は孤独だと言われますが、皆様のおかげで、少なくとも今の自分は違うと思っております。これも今まで出会った皆様のおかげだと思っております。

現場が忙しくてなかなか出席できない方も多いと思いますが、できるだけ参加して頂ければ、なか得られるものがあると思っております。是非組合活動への参加をお願い致します。

結びに、大した力添えにはならないかもしれませんが、少しでも組合の皆さんに恩返しをできる様これからも頑張つてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

# 第51回 通常総会開催



な貢献をされた新田興業(株)代表取締役 井上宣雄氏が去る5月15日逝去されたため、一同で黙祷を捧げた後開会となった。

初めに、伊藤麻美副理事長より開会の辞の後、次に主催者を代表して黒澤久理事長より挨拶を頂いた。

「理事長になってから一年経ちましたが、現在の当組合には沢山の課題があるように感じています。本日は特に重要な以下の三つについてご報告いたします。

1. 組合事務所が築45年経ち、雨漏りが激しい状態でリフォームの見積もりが500～1000万円かかる。

2. 排水処理の分析機器が導入後25年経過しいつ壊れるか分からず、見積もり500万円前後。

平成元年150社、現在77社、組合員減少の中、賦課金を上げるわけ

にもいかず最大1500万円程度の返済は厳しいのではないかと場合によっては貸しテナントや外部委託も検討したい。

3. 昨年立ち上げた会員拡大特別委員会の勧誘について、新規加入企業に加入を検討して頂くに当たり、出資金の負担が大きく、この軽減を図る為、定款の出資金の条項を改訂したい。

現在、理事会の出席率が50%程度なので出席率の改善を図りなが



ら上記三つの問題を解決していきたい。」と述べた。

続いて、議案審議に入り議長に柿沼義男氏・書記に吉野正洋氏が選任され議事に入った。はじめに、書記の吉野正洋氏より出席状況について本総会が成立条件を満たしているとの報告があった。

第1号議案、平成27年度事業経過報告・財産目録・貸借対照表・損益計算及び剰余金処分(案)を出野哲也専務理事並びに各委員長が報告。

第2号議案、監査報告について饗場功治監事より報告があり、第1号・2号議案を一括審議、満場一致で承認された。

第3号議案、平成28年度基本方針並びに運営方針、事業計画(案)並びに収支予算(案)、承認の件を出野哲也専務理事及び各委員長が説明。

埼玉県鍍金工業組合(黒澤久理事長)は平成28年5月25日午後4時00分よりパレスホテル大宮にて平成28年度第51回通常総会を開催した。

来賓をはじめ組員・賛助会員多数出席のなか、島田幸昌総務委員長が司会を務めた。

開会に先立ち、埼玉鍍金会会長・総務

委員長等を歴任され当組合に多大

平成28年9月20日



第4号議案、借入金の最高限度額決定の件を出野哲也専務理事が説明

第5号議案、その他では出野哲也専務理事より組合員数の報告があり、本年度、新規加入企業はなく、退会企業は1社あり、正規組合員企業は77社、賛助会員27社で、28年度より賛助会員としてユケン工業(株)が加入との報告があった。また組合役員についても変更があり、和田忠宏環境委員長が会社都合により組合行事に参加が難しくなっ

ため、副委員長の渡邊順一氏が委員長に就任。吉野電化工業(株)より新たに吉野正洋氏が環境副委員長として就任され出席されることとなった旨報告があった。

全ての議案審議は満場一致で承認され滞りなく終了し、吉田幸司副理事長の閉会の辞で総会を閉じた。

この後、同会場4階ロースルームにて懇親会を開催し、埼玉県鍍金工業組合青年部埼玉鍍金会長 甲斐野嘉彦氏の司会で始まり、主催者を代表して黒澤久理事長が挨拶された。

「懇親会を始める前に先の熊本震災で亡くなった方々へのご冥福を申し上げると共に被災された方にお見舞いを申し上げます。明日から伊勢志摩サミットが行われるとのことで、新聞等々によりますと各国の事情があり金融関係の政策については温度差が激しいよう、不安と期待が入り混じった気持ちで見守っている。

振り返ってみると年初から株安で、東芝の問題、マイナス金利の実施、シャープの買収と矢継ぎ早に起こる経済のニュースに振り回された感がある。とはいえ愚痴ばかりでも仕方無いので足元を見つめ直し、地味にやり方を変えていく時期ではないか？私事ではあるが、5月の連休は例年より長かったので自宅であつくり読書をして

いたのだが、石原慎太郎の「天才」という本をご存じだろうか？これは田中角栄について書かれた話であるが、北海道・北陸新幹線然り、今になり彼の描いた列島改造論が現実味を帯びてきているのが興味深い。機会があれば手にとりたい。機会があれば手にとりたい。また彼に因み「田中角栄100の言葉」という本から、三つほど彼の言葉を紹介したい。まず「貸した金は忘れる。借りた金は忘れるな。」「学歴は過去、学問は現在」これが二点目。三つ目「新聞で間違いなく正しいものが三つある。死亡記事・株価・テレビ

欄。その他は分からない」

お陰様で組合は満50年、この総会後の次回理事会で実行委員会を立ち上げ周年事業を企画するつもりなので宜しくお願いします。」と述べた後、

埼玉県産業労働部

参事兼副部長 渡辺 充 様

(埼玉県知事 上田 清司 様代理)

自民党内閣部会長

衆議院議員 中根 一幸 様

全国鍍金工業組合連合会

副会長 神谷 博行 様

以上の来賓の皆様よりご祝辞を頂いた。

そして東京都鍍金工業組合常任顧問理事 八幡 順一 様の乾杯のご発生により、祝宴に入った後、終始和やかな雰囲気の中、仁科俊夫顧問理事の閉会(中締め)の挨拶で第51回埼玉県鍍金工業組合通常総会・懇親会を終了した。

# 全鍍連 通常総会開催される



平成28年度 全国鍍金工業組合連合会の通常総会および懇親会が平成28年5月27日に機械振興会館において開催されました。

総会の司会は池田総務委員長の進行で行われ、業界関係物故者に対する黙祷の後、神谷副会長の開会の辞を述べ、主催者代表の挨拶で 栗原会長より、4月におきた熊本の震災において、残念ながら

被害にあわれた方々への労いのお言葉、そして、「今回の震災では、

周囲の方々が自発的に助け合いながら、スムーズな事業継続ができたと聞いており、大変素晴しく思っている。全鍍連では、『鍍金業誇り、業界の絆』というスローガンを掲げているが、単なるスローガンではなく、実際にお互いに助け合うことで、さらに業界の絆が

強固なものになると確信している」と挨拶を述べられた。

次に、熊本地震の被災状況の報告で、九州めぐき工業組合から山田理事長並びに被災されたオジックテクノロジーズの金森社長から、被災直後から現在までの復旧状況など詳細に報告がなされ、また全国から届けられた支援物資など温かい支援に対するお礼を、述べられました。

続いて岸賞の表彰で、茨城県鍍金工業組合現理事長の溝口輝明氏が、17年という長い間全鍍連役員など、組合に多大な功績、業界の発展に寄与された事で受賞されました。

総会の中で、井上監事(埼玉県鍍金工業組合第一支部)が逝去により同じく第一支部より島田幸昌氏が選任されました。

森脇副会長の閉会の辞で平成28



年度総会を終了した後、席を移し、鈴木名誉顧問による乾杯のご発声で、懇親会に入り、和やかな時間を過ごしました。

終盤、姫野顧問理事によるご発声で中締めをし、山田副会長が閉宴の辞を述べ、懇親会を終了しました。

## 埼玉鍍金工業組合 定期総会開催される

されました。

開会に先立ち、去る、5月15日に急逝した埼玉鍍金第14代会長の新田興業(株)の故井上宜雄様のご冥福を祈り、会員一同、一分間の黙とうを捧げました。



スリーケ(株) 佐藤氏の「開会の辞」により、定期総会が開催され、まずは本会会長任期終了となる(株)甲斐野テックス 甲斐野氏より任期中の会員各位の協力に対する感謝の意と活動の総括についてご挨拶をいただきました。

続いて(株)石田電解研磨 石田氏より委任状含め定足数が問題ないことが報告された後、認定第一号議案事業報告、第二号議案予算報告承認の件は無事承認されました。

次に、本総会をもって、現会長甲斐野氏が任期満了となる為、役員

改選が行われ、推薦により新会長として、(株)潮工業 饗場功治氏が満場一致の承認を受け第24代会長に就任されました。

新会長より本年度の計画案へと議事が移り、事業計画案発表、本年度の予算案の上げがあり、各議をすべて満場一致で可決されました後、ご来賓いただきました埼玉県鍍金工業組合 黒澤理事長より埼玉鍍金の先輩としてのご助言をいただきました。

(有)渡辺鍍金工業所 渡邊氏による「閉会の辞」で定期総会は無事に終了し、同「新道山家」の宴会場にて、懇親会が開催されました。

お忙しい中、ご来賓として、埼玉県鍍金工業組合から黒澤理事長、仁科顧問理事、会友の新藤様、坂本様、歴代会長の小築様、熊木様、島田様、下村様にも御参加いただき、盛大な懇親会となりました。

2016年6月11日(土)さいたま市大宮区の料亭旅館「新道山家」にて、埼玉鍍金の第47回定期総会が開催されました。

当日は梅雨を忘れるような30℃近い猛暑の中、22名の会員が出席しました。

定期総会は、司会進行 (株)大倉岡田氏、議長 (株)小林鍍金工業小林(直)氏により、議事進行がな



## 第24代埼玉鍍会 饗場功治 新会長挨拶



直前会長の甲斐野さんをはじめ23代にわたる会長と会員・会友の方々のご活躍によりここまで成長をした埼玉鍍会の会長を務めることはとても身の引き締まる思いです。

爽やかな初夏を迎え、木々は大きく育ち、大きな実をつけるための花々が美しく咲き誇ろうとする6月の第47回定期総会にて、50年をまもなく迎えようとする歴史ある埼玉鍍会の会長にご承認をいただき、この大役を拝命させていただきましたこととなりました、(株)潮工業の饗場功治です。親組合の方々からも益々のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

ひとつでも新たな収穫を活動の中で実感できるよう努め参る所存です。

「饗」は「おもてなし」と読みます。任期中は埼玉鍍会の皆様と一緒に多方向に向かつての「おもてなしの心」を養うとともに、今期の活動テーマを「守破離に挑む」とさせていただきますいただきました。「守破離」とは、「茶道や武道などで使われる言葉で、「過去の流れの型を守り修行をし、より良いと思われる方向に進むため既存の型を破り、自分自身と技を知ることから離れて自在になること」とあります。先輩方のご努力を糧に変わりゆく時代に対して埼玉鍍会流のやり方で挑んでみたいと考えております。組合事業者皆様のお知恵を拝借しながら、

埼玉鍍会に入会してから14年目となりますが、「埼玉鍍会に入会したからには会長を経験しなさい」と先輩に言われ続けて参りました。この業界に外から飛び込んできたために全てが分からないことばかりでしたが、先輩方に助けていただきながら弊社の運営や組合・埼玉鍍会事業を会長になるのであればという観点で考えてきたことが現在の自分の成長に繋がっているのではないかと実感しております。まだまだ未熟者ではありますが2年間の任期のうちに何かひとつでも、この組合の後継者達に引き継ぐことができ、「やっとな人前になったな」とお褒めいただけることを目標に頑張ります。

### ほう素等4項目の暫定基準改正及び延長について

#### 概要

- ①平成28年7月1日より、規制を強化して暫定基準が3年間延長されました。(表1)
- ②次回(平成31年7月1日以降)の再延長は難しく、今後一律基準に向けた取組が重要です。

水質汚濁防止法第三条第一項及び第二十七条の規定に基づき、「排水基準を定める省令の一部を改正する省令の一部を改正する省令」が平成28年6月18日に公布され、平成28年7月1日から施行されました。

#### 1. 改正の背景

水質汚濁防止法第三条により、有害物質は環境省令で定めることとされています。有害物質ごとの一般排水基準については、排水基

表1 暫定排水基準改正の概要(埼玉県)

単位:mg/L

	改正前(H25.7.1~H28.6.30) → 改正後(H28.7.1~H31.6.30)		
日平均排水量	ほう素及びその化合物	ふっ素及びその化合物	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物
10㎡未満	40 → 30	50 → 40	300 → 100
10㎡以上50㎡未満		50(15※) → 40(15※)	
50㎡以上		15 → 15	
一律基準	10	8	100

※埼玉県では「水質汚濁防止法第三条第三項の規定に基づき、排水基準を定める条例(昭和46年埼玉県条例第61号)」により、この区分のうち以下のいずれかの要件を満たす工場又は事業場には、暫定基準の上乗せ基準が適用されます。  
 ・平成13年6月30日において既に上乗せ条例の規制対象であった工場又は事業場  
 ・平成13年7月1日以降に設置された工場又は事業場

準を定める省令(昭和四十六年総理府令第三十五号)により定められています。平成十三年に、排水基準を定める省令の一部を改正する省令(平成十三年環境省令第二十一号)により同省令を改正し、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物並びにアンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物を有害物質として追加され、それらの一般排水基準が設定されました(平成13年7月1日施行)。

その際、附則において、直ちに一般排水基準を達成することが著しく困難であった一部の工場・事業場(40業種)に対し、3年間の暫定措置として、暫定排水基準が設定されました(平成16年6月30日まで)。その後、平成16年7月、平成19年7月、平成22年7月及び平成25年7月に同附則を改正し、暫定排水基準の見直し行っており、現在は、13業種について暫定排水基準が設定されています(平成28年6月30日まで)。

平成28年6月30日を以て適用期限を迎える暫定排水基準は、当該13業種の暫定排水基準について、環境省において所要の検討を行った結果、12業種について、引き続き3年間を期限に暫定排水基準を設定(粘土かわら製造業のほう素、電気めっき業のアンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物に係る暫定排水基準については、一般排水基準へ移行することとなりました。(平成28年5月25日中環審水環境部会)

2. 改正内容  
 平成16年、平成19年、平成22年及び平成25年の改正と同様に、上位の排水基準を定める省令の一部を改正する省令(平成十三年環境省令第二十一号)の附則別表を改正し、業種及び対象物質ごとに、現行の暫定排水基準の廃止又は平成28年7月以降の暫定排水基準の延長及び強化(平成31年6月30日まで)の措置を定めるものであります。(表1の通り)

3. 今後の対応について  
 全鍍連では年2回、排水濃度調査を行うとともに、過去、一律基準値を超過した事業所のリストを作成してきました。今回の暫定排水基準は平成31年6月30日までの期限があり、今後、一律移行に向けた取り組みが重視されてまいります。当環境委員会といたしましても、全鍍連、所轄官庁、排水設備・薬品メーカー等多方面と連携を取りながら、各事業所が一律排水基準達成に向けての技術的な情報提供等の取組を検討して行きたいと考えています。

一律排水基準の達成に向けて、組合員の方々にはご協力をお願い申し上げます。

環境委員長 渡辺 順一

# 「人とくるまのテクノロジー展」

## (株)ダイエイバレル 特殊バレル研磨採用



平成28年5月25・26・27日にパシ  
 フィコ横浜で開催された「人とく  
 るまのテクノロジー展2016横  
 浜」でホンダの新型スポーツカー  
 「NSX」に採用されたハイポイ  
 ドギア(写真1)が、(株)ショーワの  
 ブースにて国内初展示された。(日  
 刊工業新聞5月27日掲載)  
 このハイポイドギアは独自の研



磨方法で鏡面化し耐久性を高め高  
 トルクと高回転に対応したギア  
 で、(株)ダイエイバレル(第七支  
 所)が受注加工を行っている。  
 高性能スポーツカーの重要部品  
 となるトランスミッションに使用



され、今後、他の車両にも応用され  
 ることから、この最先端技術を支  
 えている(株)ダイエイバレルの更な  
 る発展に期待を寄せている。



(写真1)

月額830円、年間掛金9660円(1人・1口)から加入できます！

# 『埼玉県鍍金工業組合』生命共済制度の加入のご案内

平成22年10月1日より当組合の

生命共済制度は一般財団法人全国  
中小企業共済財団の制度へ移管  
し、新たなスタートを切りました。

そのスタートにあたり多くの組合  
員のご協力もあり、現在順調に推  
移しております。当組合としまし

ては、更なる制度の安定化を図り  
たいと考えておりますので、まだ  
加入されていない方は、是非ご検

討ください。今後ともご協力賜わ  
りますようお願い申し上げます。

また、制度の特徴は以下のとおり  
となります。ご確認ください。

## 【特徴】

①組合員とそこで働く役員・従業  
員が加入できる制度です。

②毎年、年度末に収支を計算し、余  
剰金は配当金として還元され  
ます。

③掛金は全額損金算入できます。

④無審査で加入でき、1年ごとの  
更新です。

⑤当組合の事業にもなっております。

※詳しくはパンフレット、または  
組合にご相談ください。

## 【制度の概要】

①加入資格  
15才以上64歳以下の役員およ  
び従業員

加入後は75歳まで継続でき  
ます。

②加入日  
毎月1日に加入・増口できま  
す。

③掛金  
1口830円(月額)  
最高5口まで

④保障内容  
一般死亡共済金  
災害死亡共済金  
災害障害共済金  
災害入院共済金

⑤受取人  
請求者・受取人は事業主となり  
ます。

⑥申込方法

所定の申込書をご作成のうえ、  
組合事務局へご送付ください。

## 【その他、詳細の連絡先】

〒102-0093

東京都千代田区

平河町1の4の1

一般財団法人

全国中小企業共済財団

電話番号

03-3264-1511

担当者・業務部 磯貝

## 《生命共済制度・F A X 送信欄》

埼玉県鍍金工業組合 事務局 御中

(F A X048-652-7631)

1. 加入したい
2. 一度説明を聞きたい
3. パンフレットが欲しい

事業所名	
住 所	〒
電話番号	
担当者名	

「彩の国ビジネスアリーナ」  
参加募集

今期開催予定の「彩の国ビジネスアリーナ」は平成29年2月1日(水)～2日(木)の2日間、開催されます。

前年度参加された企業の皆様および興味のある企業は、是非ご参加いただければ幸いです。

今期も、12ブースを確保済みです。1ブースの場合8万円、1/2ブースの場合4万円(税・電気代込)。参加申し込み締め切りを10月14日に予定しております。

技術委員会

■訃報

井上 宣雄さん

新田興業(株)

代表取締役

平成28年5月15日 逝去

享年56歳

編集後記

川越のシンボル「時の鐘」



情緒あふれる蔵造りの街並みに、ひとときわ高くそびえる川越のシンボル「時の鐘」。

蔵造りの街並み同様に、城下の面影を残す建造物で、江戸時代初頭から城下の街に時を告げ、庶民に親しまれた時計台です。

約400年前、当時の川越播主であった酒井忠勝(さかいただ

かつ)によって創建されたと言われており、木造で3層やぐら造り高さ16メートル、度重なる火災で焼失したが、度々建て替えられ、現在は4代目にあたり、明治26年におきた川越大火直後に再建されたもので、川越の商人達が自らの再建もままならない状況で、暮らしに欠かせない時の鐘を告げる時計台をいち早く立て直されました。

現在、時の鐘は平成8年、環境省の「残したい日本の音風景100選」に認定され、今も午前6時、正午、午後3時、午後6時の4回、庶民に時を告げる鐘の音を響かせています。

現在、時の鐘は耐震工事を行っており、平成28年10月までは鐘の音を聞くことはできません。10月中には工事を完了する予定ですので、川越に行かれた際は、「時の鐘」の音を聞いて400年の歴史を感じてみては如何でしょうか



印刷

保証企画工芸株式会社

〒110-0012

東京都台東区竜泉1-4-3

TEL 03(3875)1641